

今市地区まちづくり懇話会

日 時：平成 30 年 6 月 23 日（土）10：00～

場 所：日光市役所本庁舎

テーマ：自然とあいさつが飛びかう今市地区に！

[対応方針・対応状況]

①自治会への加入促進について

〈参加者の発言要旨〉

自治会や育成会に入らない保護者が増えてきています。自治会・育成会に所属しましょう、地域ぐるみで子育てをしましょうということを発信していますが、行政側からそのような意識付けはできないでしょうか？

〈市側の発言要旨〉

自治会への加入については、個人の方々の様々な考え方もあり、強制力も持てないということもあることから、非常に悩ましいところです。しかし、自治会加入率は、行政としても上げていくべきことだと思っています。何らかのかたちで、様々な機会を捉えて、加入に向けた努力をしていきたいと考えています。

◇対応方針・対応状況

自治会は、地域の互助組織を担う、最も基礎的なコミュニティ組織です。しかしながら、近年の少子高齢化の進行や単身世帯の増加などにより、加入率の低下に加え、住民の高齢化や役員の担い手不足など、多くの課題を抱えているのが現状です。こうした課題に対応するためには、そこに住む住民が連携・協力して「つながり」や「きずな」を構築し、自治会活動を活性化・活発化していくことが重要です。

このようななか、当市では、自治会活動への支援として、活動に対する経費の一部を補助する制度や、市の支援策をまとめた「自治会活動お役立ち情報」の配布などを行っています。また、市内への転入者等に対して、加入促進リーフレットや自治会活動ガイドブックを配布し、加入促進を図っています。

今後も、自治会長会など、さまざまな機会を捉えて、それぞれの自治会が抱える現状を把握するとともに、先進地事例等の情報を提供しながら、自治会活動の活性化に向けた支援を継続していきます。

②一体感の醸成について

〈参加者の発言要旨〉

焼そば大会みたいなものを開催すると、地域としての一体感が出るのではないのでしょうか。そういった大人と子供が一堂に集まれるような行事をつくっていただけないのでしょうか？

〈市側の発言要旨〉

今市地区では体育祭を廃止した後、グランドゴルフ大会やラージボール卓球大会など、いくつかの大会を実施しています。ソフトバレーボール大会においては、お子様から高齢者まで含んだチームを編成して参加していただいています。皆さんに周知して様々な方に集まっていただくということは大切だと思うので、ご提案のあったような取り組みにつきまして、体育協会今市支部や今市公民館と相談したいと思います。

◇対応方針・対応状況

現在、他の地区において、住民の交流・ふれあいの場として実施している、いわゆる「ふれあいまつり」では、各々実行委員会を組織し、その中でまつりの内容や各団体の役割等を協議して実施しています。

これらの「ふれあいまつり」は「協働のまちづくり」を念頭に、自治会・体育協会ほか多数の団体の会員自らが、模擬店や各種体験コーナーなどのブースを担当し、まつりの準備から当日の実施・後片付けまで行っています。

今市地区において「ふれあいまつり」のような交流の場を創出するためには、他の地区に比べ、自治会や体協、その他の団体等の規模が大きいことから、各団体の深い理解や情熱、機運の高まりが不可欠と考えられます。

なお、地域の拠点である公民館には、つどう・むすぶ・まなぶという基本的な役割があり、多くの人が公民館に集い、つながることで学びあい、地域課題の解決に向けた担い手づくりの育成も可能となります。

こうしたきっかけの場としても有益なことだと思しますので、今市地区の各種団体の状況を確認しながら対応していきます。

③あいさつの推進について

〈参加者の発言要旨〉

「あいさつ」を推進するためには、まずは、顔を知っている企業内であったり、

家庭内であったり、組内同士であったり、身近で顔をわかっている人同士で始めるような仕組みができればよいのではないのでしょうか？

〈市側の発言要旨〉

教育委員会における取り組みとして、家庭教育学級や生涯学習における講演などもありますので、そのような機会を捉えて、何かできるようなことを考えていきたいと思えます。

◇対応方針・対応状況

「あいさつは人間関係の基本として大切なものです。“ひと”と“ひと”が出会い、言葉を交わすことで、相手の存在を認め合い、お互いを大切にするといった心が育まれる効果もあり、このような取り組みを身近なところから推進していくことは非常に効果的であると考えます。

市としましては、生涯学習といった観点からも、人権教育や家庭教育学級など、様々な機会を捉えて、あいさつの推進について啓発していきます。

④あいさつ運動の展開について

〈参加者の発言要旨〉

無理のない、市民にやさしいあいさつ運動を展開しようということで、全員一致で提案をさせていただきました。

これからどういう方法で推進するのかについては、もう少し勉強、検証をして、今市独自の方針・方策を立てて、推進したほうが効率的に推進できるのではないかと考えています。まずは、今市地区からきらりと光る市民運動として展開していきたいと思えます。

〈市側の発言要旨〉

何らかの方策を探りながら、少しずつ前に進めるように頑張っていきたいと思っています。学校の現場では、色々な難しい問題もありますが、とにかくあいさつが飛び交うまちに、寂しいまちはないと思えますので、しっかりと日光のまちを世界に発信していき、市民の皆さまに誇りと自信を持って、この日光で生きていていただきたいと思えます。

◇対応方針・対応状況

「あいさつ運動」は、地域のコミュニケーションの活性化を図り、豊かな人間

関係と住みよい生活環境を築くことのできる、効果的な取り組みであると考えています。

しかし、近年、人と人とのつながりが希薄化し、全国的に社会での凶悪犯罪が多発している現状において、この取り組みを推進していくためには、地域全体の意識の向上が必要であると考えます。

今後、学校や企業等、市民の皆さまとともに地域の実情を把握しながら、地域ぐるみでの「あいさつ運動」推進に向けて、検討を進めていきます。